

2 月 1 日(木曜日)「シイタケの菌打ち体験」の準備をする

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田 11 名】



シイタケの菌打ち体験で菌打ちした原木をシイタケランドに置いておく人のための名札作りをした。以前使っていた名札の再利用である。古くなったヒモを外し、書いてあった名前を消すために白のペンキを塗り乾かした。

その後、イベントで使用する道具類（ドリル、ビット、物差し）や原木をのせる台木、ビニールシートなどの確認をした。

2 月 8 日(木曜日)イベントの準備と枯れマツの除伐

【参加者：池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、山本 12 名】



花のテラスに紅梅の花が咲き始めた。美しさと同時に、力強さも感じさせてくれる梅の花。厳しい冬をじっと耐え、まだ寒い時期に薫り高い花を咲かせるのだから、相当なパワーがいることだろう。だからこそ、梅の告げる春がいつそうほほえましく感じられるのだと思う。



- 11 日の「シイタケの菌打ち体験」に向けて、
- ・菌コマを一袋に 60 個ずつ入れて 16 袋作る
 - ・ヒモで 2 本 1 組にして縛った原木に番号札 (A-1~A-8, B-1~B-8) を付ける。
 - ・シイタケランドの整備（笹刈り、腐ったホダ木の処分）などの作業を行った。

午後からは、職員の坂田さんと一緒に、観察広場周辺の枯れマツの除伐と整備を行った。

ササが生い茂り、ぬかるんだ場所にある枯れマツを除伐する方法を話し合った後、坂田さんが伐倒。思い通りのところに倒すことができ、後の処理も容易にすることができた。その後、周辺の枯れマツ 6 本を除伐。



木に絡まったつるでリースを作り、エノキの名札をちょっとおしゃれに



以前モリメイト会員だった山本さんが再加入

2月11日(日曜日)

「シイタケの菌打ち体験」開催 261号に掲載

2月15日(木曜日) 刈り払い機の点検をする

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、山本 計11名】



職員の渡辺さん、坂田さんと一緒に刈り払い機の点検をした。正常に作動するものには黄色のテープを、不良品には赤色のテープをつけていった。7割ほどが正常に動き、使えることが分かった。

モリメイト会議

- ・「シイタケの菌打ち体験」を終えての感想、反省点を出し合う。
- ・友生地区市民センターからシイタケの菌打ちイベントの依頼を（来年）モリメイト活動を知ってもらうためにも引き受ける
- ・トヨタから寄贈される苗木を植えるイベント（3月30日）にモリメイトも手伝う

2月22日(木曜日) モリメイトでシイタケの菌打ち

【参加者;池本、梶川、木谷、越智宏、杉、鈴木哲、中、濱田、山本

計9名】

小雨模様の中9名が集まった。

初めに、事務所とモリメイト合わせて25本の原木にシイタケの菌打ちを行った。シイタケランドに運び、梅雨前まで仮伏せの状態でおくこととした。

その後、緑化推進協議会に提出する報告書の検討をし、午前中で活動を終えた。



2月29日(木曜日) 花菖蒲園とモリメイトフィールドの整備を行う

【参加者;池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田、山本 計13名】

花菖蒲の芽が上がってくる前に、枯草でおおわれていた花菖蒲園の草刈りを行うことにした。

初めに、刈り払い機で草を刈り、刈った草を片付けてからもう一度刈っていった。フェンス際は鎌で刈っていった。水路に落ちた草を上げ、水路の泥をかき、水の流れをよくした。最後に、竹熊手で草をかき集め、花菖蒲園の整備を終えた

春の日差しに促され、もうすぐ花菖蒲の芽吹きが始まるだろう。

同時に、クヌギの植樹地の草刈りとクヌギのひこばえの萌分け（間引き）も行った。

